

## 高齢者の移動手段確保について

**(質問)** 公共交通バス路線の一部廃止などで交通不便地域が増える中、自動車運転免許証自主返納が進み、通院や買い物を目的とした高齢者の移動手段確保の必要性が高まっている。その対策として、北勢地域でもデマンド乗合タクシーなどの試験運行を行う市町が増えている。本市でも公共交通空白地域の定義を実態に合わ

せて見直すとともに、地域や交通事業者と協議を行い、デマンド乗合タクシーなどの実証運行をすべきと考えるがいかがか。

**(答弁)** 公共交通空白地域の定義については、バス停までの距離を見直し、より現実的な設定にしていきたい。地域主体の乗合タクシーなどの運行ルールを定めた手引書を作成し、地域での聞き取りやアンケート調査を進め、速やかに地域選定を行い、地域需要に沿った交通システムの実証運行など、目に見える確かな形として実現していきたい。

## 定期監査報告書より

**(質問)** 定期監査報告書によれば、決裁文書の不備が常態化し、長年の課題となって改善されていない。特に教育委員会が突出している。職員の問題意識の低さをどのように受け止め、どのように徹底・解決を図るのか。

定期監査は各部署を隔年で対象としている。来年度の監査対象の部署に対しても適正な事務

の執行に努めるよう求める。

**(答弁)** 公文書作成ハンドブックを活用した職員研修を実施しているが、文書事務の不備が多数あることから今後も監査指摘事項の把握・分析を行い、次年度以降の研修に取り組む。全職員がチェック機能を果たすよう、原点に戻って正確な事務処理を行う。起案の意義の徹底や仕事を属人化させない取り組み、また、定期的に研修の場を持つことで職員の意識改革を図り、適切な事務執行に努める。

その他の質問○天皇即位における大型連休への影響

## 農業支援について

**(質問)** 農業は、人の命に関わる食べ物を提供しているだけではなく、環境に関しても重要な役割を担っている。支援の状況は。

**(答弁)** 水田は、生産活動をはじめ、ゲリラ豪雨や台風などの大雨洪水時に貯水機能を果たす防災対策や景観など多面的機能があり、その活用に向けたさまざまな支援を行っている。

る。

水田農業の衰退・荒廃を防ぐために、補助金による支援や転作作物の種子代の補助金などで支援し、また、農地利用のマッチングや新規就農者の支援、耕作放棄地再生の取り組みに対する支援などを行っている。

野菜・植木・お茶・花木・畜産農家に対しても、獣害対策や伝染病対策など、それぞれの事業に適した対策を、関係団体と連携しながら経費の助成などを行っている。

その他の質問○中勢バイパスについて

## 学校の対応について

**(質問)** 児童の虐待について本市の実態は。また、児童相談所との連携について、どのような取り組みを行っているのか。

**(答弁)** 本市の児童虐待に係る相談件数は、昨年度が246件で年々増加傾向にあり、県内の他の児童相談所と比べて相談件数は上回っている。そこで、小中学校で研修会を実施し、

児童虐待の未然防止と早期対応の周知を図り、虐待防止に努めている。

県では、今年4月より、三重県鈴鹿庁舎内に鈴鹿児童相談所を開設することとなり、本市からは職員一人を派遣する。開設によって、児童虐待相談などへの迅速な対応が可能となる。また、介入型支援の強化のため、関係機関と積極的な情報共有を図り、さらなる連携の強化に努めたい。

その他の質問○廃棄物対策について  
○五歳児集団適応健診について